

ヒノキを用いた木製グレーチングの開発

福岡県工業技術センター インテリア研究所

目的

(株)シマブンは、2014年に高級バスhtubや高級浴室向けに洋風の木製グレーチング(以下、GR)の商品化に成功し、新規カテゴリーに参入した。その後、顧客から淡色調の和風テイストに調和する商品や高耐久性を求める声が多く寄せられた。そこで、これらの要望に応えるため、ヒノキを用いたGR部材の開発を目的とした。



現在の木製グレーチング

概要

従来の表面塗膜処理による防カビ性能を確保した木製GR部材に対し、新技術のヒノキへの樹脂含浸処理により淡色で高耐久を満足するヒノキGR部材を検討した。

樹脂含浸処理

- 含浸樹脂材料の選定(ｲﾝﾃﾘｱ研、ｼﾏﾌﾞﾝ)
- 含浸と硬化処理の工程や条件の検討(ｲﾝﾃﾘｱ研、ｼﾏﾌﾞﾝ)

防カビ性

- 樹脂含浸の防カビ性試験、評価(ｲﾝﾃﾘｱ研、生食研)
- 耐久試験後の防カビ性試験、評価(ｲﾝﾃﾘｱ研+生食研)

総合評価

- 商品としてのGR部材性能評価(ｲﾝﾃﾘｱ研、ｼﾏﾌﾞﾝ)

成果

樹脂含浸処理

- 樹脂材料：アクリル系樹脂
- 処理：減圧→加圧→加熱硬化

防カビ性

- JIS Z2911 かび抵抗試験でかび発生無
- 10年の耐久試験確保

総合評価

- 試作品を製作し、耐衝撃性、硬度、塗膜密着、耐久性の各試験をクリア



ヒノキグレーチング

【お問い合わせ先】

■ 研究に関すること
竹内 和敏(ﾀﾞｹｳﾁ ﾀﾞｽﾄｼ)
福岡県工業技術センター
インテリア研究所 技術開発課
電話：0944-86-3259
E-mail：takeuchi-k2269@fitc.pref.fukuoka.jp

■ 商品に関すること
株式会社シマブン 久野 卓郎
電話番号：0942-89-5235
HPアドレス：http://shimabun.jp

